

## 大和市文化芸術振興基本計画[第4期] 令和7年度の主な取組

## 施策目標 1

市民の暮らしと文化芸術とのつながりを深める

## 方策1-1 誰もが文化芸術を日常的に親しめる機会の充実

## ○やまと芸術祭一般公募の開催【文化振興課】

- ・やまと芸術祭一般公募は、市民から絵画・書・写真・短歌・俳句・川柳の6部門の作品を募集し、優れた作品を表彰するものです。
- ・令和6年度までは、秋に絵画・書・写真の3部門、春に短歌・俳句・川柳の3部門を実施していましたが、令和7年度より、6つの部門を1つに集約し、「やまと芸術祭一般公募」と名称を変更して実施しました。
- ・これにより、多彩なジャンルが一堂に会することとなり、互いの魅力を引き立て合い、より多くの方に文化芸術に親しんでいただける機会をつくることができました。
- ・また、短歌、俳句、川柳の3部門については、入賞作品の展示だけでなく、全作品を一冊の書籍にまとめ、これを展示会場で配布するとともに、図書館でも貸出、閲覧ができるようにし、いつでも作品に触れることができるようにしました。

## 絵画・書・写真（芸術部門）

| 年度               | R2                 | R3                 | R4                 | R5                 | R6                 | R7                 |
|------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| 出品作品数<br>(総来場者数) | 257 点<br>(2,371 人) | 268 点<br>(2,422 人) | 241 点<br>(3,105 人) | 260 点<br>(3,622 人) | 261 点<br>(3,227 人) | 263 点<br>(3,856 人) |

## 短歌・俳句・川柳（文芸部門）

| 年度               | R2            | R3               | R4               | R5               | R6               | R7    |
|------------------|---------------|------------------|------------------|------------------|------------------|-------|
| 出品作品数<br>(総来場者数) | 268 点<br>(中止) | 185 点<br>(325 人) | 256 点<br>(371 人) | 178 点<br>(722 人) | 198 点<br>(540 人) | 166 点 |



### ○みんなの音楽会シリーズの開催【芸術文化ホール】

- ・みんなの音楽会シリーズは、幼児からシニア、障がいのある方など、多様な市民がそれぞれの感性で音楽を共有し、楽しむ機会を提供することを目的に芸術文化ホールが実施したものです。
- ・本シリーズでは、難聴者支援システムの活用や点字による公演案内の作成など、誰もが円滑に芸術を鑑賞できる環境整備を推進しております。
- ・令和 6 年度はサブホールで実施していた「手話フェス」を、令和 7 年度は規模を拡大し、メインホールで実施しました。聴覚障がいのある方に限らず、「すべての人に音楽を」をモットーに活動する音楽ユニット「HANDSIGN」を招聘し、「手話フェス ～Song of Sign in YAMATO～」を開催しました。
- ・また、令和 7 年度からは、神奈川県高齢者福祉施設協議会との連携を開始し、市内福祉施設への訪問事業を実施しました。
- ・演奏は大和市ゆかりのオカリナ奏者のみりと氏に依頼し、歌謡曲、スタンダードジャズ等を中心とした約 1 時間のミニ・コンサートを行いました。入所者は、手拍子や歌唱を交えながら演奏を鑑賞しました。
- ・これらの取組を通じて、文化芸術に触れる機会の少ない方に対し、文化芸術に親しめる環境の充実を図るとともに、共生社会の実現に向けた文化芸術活動の推進につなげました。



▲手話フェス



▲オカリナコンサート

### 方策 1－3 市民の自主的かつ主体的な文化芸術活動への支援

#### ○芸術文化ホール開放事業の実施【文化振興課】

- ・令和 6 年度から、毎年 11 月 23 日に芸術文化ホールのメインホールとギャラリーを無料開放し、そこで行われる市民や団体が企画した舞台公演、展示会に対する様々な支援を行っています。
- ・舞台公演については、事前のプレゼンテーション審査を経て、認定公演を決定。令和 7 年度は、大和市音楽家協会による公演「あなたが主役！市民でつくるモーツアルトの世界」を実施しました。
- ・展示会については、可動パネルで囲まれたスペースを出展者に無償で提供し、スペース全体を使用しでご自身の作品を展示していただきました。
- ・両イベントともに、やまと芸術祭のグランドフィナーレと位置づけ、市としては、特に広報活動の支援を積極的に行いました。
- ・来場者数については、大和市音楽家協会が、舞台公演において同日の昼と夜に異なる公演を実施したことから、昨年度と比較して 70% 増（1,534 人）となりました。

| 年度                   | R6                | R7                  |
|----------------------|-------------------|---------------------|
| 参加団体数<br>(舞台の部+展示の部) | 9 団体<br>( 1 + 8 ) | 11 団体<br>( 1 + 10 ) |



○市民がつくるコンサートシリーズの開催【芸術文化ホール】

- ・芸術文化ホールにおいて、「出演する側も鑑賞する側も『市民』が主役」となることをコンセプトに「市民がつくるコンサートシリーズ」と称した公募型コンサートを開催しました。
- ・令和7年度は2回開催し、1回目は市内で活動するコーラス団体を公募し、高校合唱部からシニア合唱団まで11団体が出演しました。また、新たな取組として、参加団体から選抜したメンバーによる特別合唱団を編成し、特別合唱を披露するなど、団体間の交流促進にも寄与しました。
- ・2回目は、市内で活動するダンス団体を公募し、小学生からシニア層まで8団体が出演しました。ヒップホップ、モダンダンス、フラダンス、ジャズダンスなど多様なジャンルの演目が披露され、本事業を通じて、市民の日頃の活動成果を発表する機会の充実を図りました。



## ▲コーラス



## ▲ダンス

## 方策 1－5 文化芸術の力を社会へ活かす取組の推進

## ○避難訓練コンサートの開催【芸術文化ホール】

- ・令和 7 年度は東日本大震災から 15 年の節目であることを踏まえ、来場者参加型の「避難訓練コンサート」を芸術文化ホールで開催しました。
- ・本コンサートでは、演奏中に地震および火災が発生した場合を想定し、来場者が正しい知識に基づき、適切な避難行動を実践する訓練を行いました。シリウス全館、大和市消防本部および横浜市消防音楽隊との連携により、初めて有観客で実施しました。
- ・また、同日には、サブホールにおいて大和市消防本部による防災啓発イベントを実施し、約 250 人が来場しました。
- ・これらの取組は、文化芸術に親しむ機会の創出だけでなく、市民が日頃の備えや災害時の対応への理解を深める一助となり、さらに、施設における防災対策の周知、安心して利用できる施設運営の推進につなげることができました。



## 施策目標 2

地域の文化を大切に守り、次代につなぐ

## 方策 2-2 歴史的資源の保存、継承、活用の推進

## ○つる舞の里歴史資料館 特別展示の開催【文化振興課】

- ・令和 7 年度は、昭和 100 年および終戦 80 年という大きな節目にあたることから、つる舞の里歴史資料館の特別展示として、本市の昭和時代の歩みを振り返る特別展示「やまと激動の昭和史～交通の発達と戦争」をシリウスギャラリーで開催しました。
- ・本展示では、昭和の時代に起こり、市域に大きな影響を与えた出来事のうち、交通網の発達、厚木飛行場の建設、そして戦争という歴史的事象に焦点を当て、それらが市域の風景や人々の暮らしにいかにより大きな変容をもたらしたかを、貴重な資料とともに紹介しました。
- ・期間中は、市役所学芸員による展示解説を行い、11 日間で 2,070 人の方が来場し、「身近な土地のことを知れて、とても良かったです。交通の歴史も現在までの道のりを知り、大和の歴史をととても近いものに感じられました。」「当時の生活用品、娯楽品などを直接見られたのはとても面白かったです。」「大和の交通に関してとても分かりやすくまとめてあった。神奈川の中心として、今後の発展に期待している。」などの声をいただき、郷土の成り立ちに対する市民の理解を深め、次代へ継承する有意義な機会となりました。

| 年度              | R2             | R3              | R4             | R5               | R6               | R7               |
|-----------------|----------------|-----------------|----------------|------------------|------------------|------------------|
| 実施回数<br>(総来場者数) | 1 回<br>(665 人) | 1 回<br>(1806 人) | 1 回<br>(417 人) | 1 回<br>(1,205 人) | 1 回<br>(2,836 人) | 1 回<br>(2,070 人) |

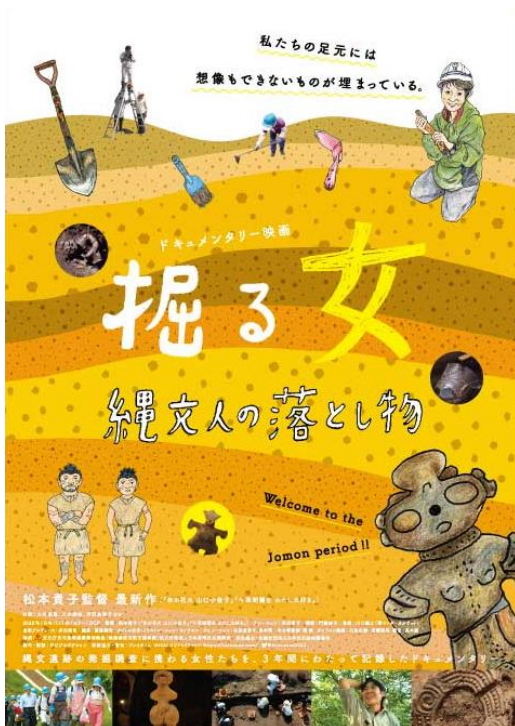


## 方策2-3 地域の歴史・文化を知り、学べる機会の充実

## ○文化財愛護講座等の開催【文化振興課】

- ・毎年11月1日から7日までの1週間は、国で定められた「文化財保護強調週間」となっており、その一環として、市では、市民に身近な文化財を知ってもらい、郷土意識を高めるための講座等を開催しています。
- ・令和7年度の文化財愛護講座は、「遺跡発掘に魅せられた人々」と題し、渋谷学習センター多目的ホールを会場に、日本の各地で発掘調査をする女性調査員と女性作業員にスポットを当てたドキュメンタリー映画「掘る女」の鑑賞と、実際に大和市域での発掘調査に携わった考古学者お二人に遺跡発掘や考古学の魅力、市域の遺跡発掘のこぼれ話などをテーマとしたトークセッションを行いました。
- ・参加者からは、「大和市に旧石器時代の遺跡がたくさんあり、世界的にも貴重であることや大昔の人々の暮らしを想像することができて、とても楽しい会でした。映画も良かったです。」「トークセッションで実際の考古学者から直に聞く機会は有意義だった」「大和市がすご〜いと少し誇らしく思った今日一日でした」などの声をいただくなど、好評を博しました。
- ・また、夏休みの期間中には、小学生以上を対象とした体験講座「麦わら細工をつくろう」を開催しました。当日は、色つけした麦わらを使った貼り絵作品を制作し、多くの子どもたちに日本の伝統工芸の魅力を知るきっかけを創出しました。

| 年度              | R2         | R3         | R4          | R5          | R6           | R7          |
|-----------------|------------|------------|-------------|-------------|--------------|-------------|
| 開催回数<br>(総参加人数) | 0回<br>(0人) | 1回<br>(8人) | 1回<br>(35人) | 2回<br>(51人) | 3回<br>(101人) | 2回<br>(82人) |



## 施策目標 3

すべての子どもが文化芸術に親しめる環境をつくる

## 方策 3 - 1 文化芸術の本物の輝きに触れる機会の充実

## ○学校プログラムの実施【芸術文化ホール】

- ・芸術文化ホールでは、「本物の芸術文化に触れる」「市内の文化施設を知る」体験を通じて、子どもたちの豊かな感性や創造性を育むことを目的として、市内小中学校へのアーティスト派遣や施設見学の受入れを実施しています。
- ・令和 7 年度は、学校からの要望を踏まえ、市内の小学校 3 校でアウトリーチ事業を実施しました。
- ・雅楽をテーマとした 2 校では、大和市雅楽協会を中心とする演奏者が、笙、箏、龍笛による演奏や楽器説明を行い、児童が雅楽の音色や楽器に間近で触れる機会を提供しました。
- ・また、落語をテーマとした 1 校では、令和 3 年度大和市文化芸術顕彰文化芸術未来賞を受賞された落語家、柳家あお馬氏等が出演し、落語の所作や小物の説明、教科書に関連した演目を通じて、古典芸能への理解を深める機会としました。
- ・これらの取組を通じて、児童が地域にゆかりのあるアーティストによる質の高い演目を体験し、文化芸術への関心を高めるとともに、学校教育と連携した文化芸術活動の充実につなげることができました。

## 方策 3 - 3 創造活動の成果を発表する機会の充実

## ○やまと伝統文化フェスティバルの開催【文化振興課】

- ・やまと伝統文化フェスティバルは、日本舞踊、華道、雅楽、詩吟など日本の伝統文化を学べる「やまと子ども伝統文化塾」の塾生が 1 年間の稽古の成果を発表する場として毎年開催しており、令和 7 年度においても、メインホール、ギャラリー等で多くの子どもが多彩な演目や作品を披露しました。
- ・また、当日は、ゲスト出演として、厚木基地内と米軍相模原住宅地区内のアメリカンスクール「シャーマーリーランハム小学校」と「アーン小学校」の子どもたちが和太鼓の演奏を行いました。
- ・このほか、当日気軽に様々な伝統文化を体験できるコーナーや、芸術文化ホール公演の親子ペアチケット、和菓子セットなどがもらえるプレゼント企画を実施するなど、終始、多くの参加者で賑わいました。
- ・来場者アンケートでは、「小学生、中学生が真剣にお花や茶道に向き合っている姿に感動しました。このような体験は貴重だと思う」「小学生ぶりに書道をして楽しかった。これを機会に家でも書に触れてみようと思いました」などの声をいただき、今後も、こうした機会を継続的に提供し、子どもたちが日本の伝統的な技法や精神を学び、豊かな感性を育む土壌を醸成したいと考えます。



▲やまと伝統文化フェスティバル

▲学校プログラム「雅楽」「落語」

## 施策目標 4

文化芸術の振興を牽引する担い手を育てる

## 方策 4 - 1 伝統文化継承者の育成

## ○やまと子ども伝統文化塾の実施【大和市伝統文化伝承事業実行委員会】

- ・次代を担う市内の子どもたちが、日本舞踊、華道、雅楽、詩吟などの日本の伝統文化を継続的に、かつ経済的負担なく学べる環境を整えるため、市内の伝統文化団体から成る大和市伝統文化伝承事業実行委員会が、文化庁の補助金を活用して「やまと子ども伝統文化塾」を実施しています。
- ・伝統文化に初めて触れる人でも楽しみながら学べるプログラム構成となっており、稽古を通じて技能の向上を図るとともに、礼儀作法等の規範意識の育成にも寄与しています。
- ・令和 7 年度は、新たに「着付け教室」を加えた 19 教室を開講し、さらなる受講機会の充実を図った結果、受講者は 310 人から 335 人に増加しました。



## 方策 4 - 3 文化芸術の振興に寄与した人の顕彰

## ○文化芸術顕彰授賞式およびミニ公演の開催【文化振興課】

- ・令和 6 年度より、顕彰制度の意義をより明確に示し、顕彰受賞者を広く市民に周知するため、文化芸術顕彰授賞式を毎年 11 月 3 日に開催されている市内 7 つの文化施設の合同イベント「やまとみらいまつり」のオープニングイベントの中で実施しています。
- ・令和 7 年度は、後半のミニ公演の出演者を過去の顕彰受賞者にすることにより、顕彰制度との一体感を高めるとともに、顕彰受賞者の活動をより効果的に PR することができました。
- ・来場者アンケートでも、「大和市に様々な演奏者がいらっしゃることを知れて良かった」「一流の方が市内在住と聞きとてもうれしかったです」などの声をいただきました。



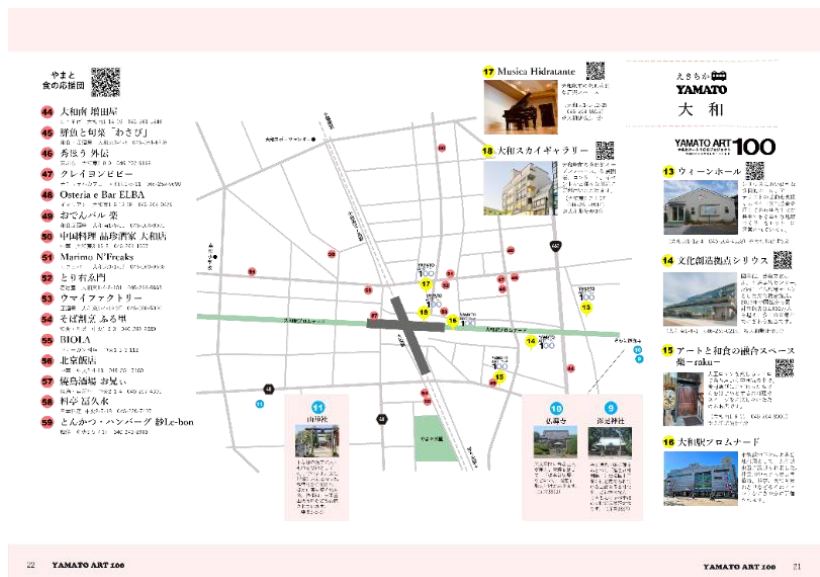
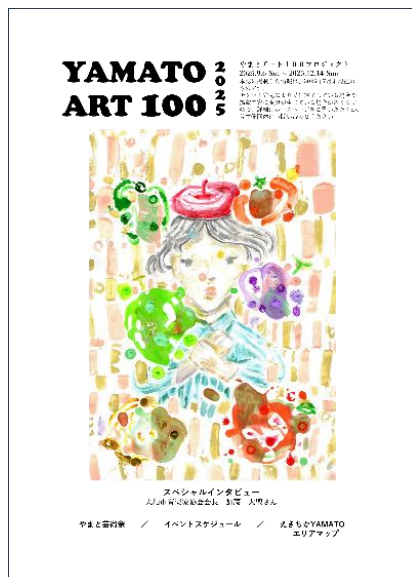
## 施策目標 5

大和の文化芸術の魅力を内外にアピールする

## 方策 5-3 文化芸術の魅力の一体的な発信

## ○YAMATO ART100 リーフレットの発行【文化振興課】

- ・YAMATO ART100 は、秋に開催されるアートイベントを集結させ、文化芸術の力で大和を盛り上げるプロジェクトです。
- ・市では、毎年、市内の文化芸術団体等に対し、同プロジェクトへの参加を募集し、団体等が主催するイベントを市が作成するリーフレットやホームページなどでPRしています。
- ・令和7年度は、リーフレットの掲載する情報を見直し、巻頭にやまと芸術祭グランドフィナーレ舞台の部の主催者のインタビュー記事を掲載し、公演への市民の関心と期待感を高めました。
- ・また、会場マップには、YAMATO ART100 のイベント会場に加えて、健康的な食を応援するお店として、市健康づくり推進課に登録している飲食店（やまと食の応援団）や市内の歴史スポットの情報も掲載し、健康施策や歴史施策との連携強化を図り、来訪者の回遊性向上に貢献しました。



## 施策目標 6

多文化共生社会の実現を目指し、様々な文化に親しめる環境をつくる

## 方策 6－1 文化芸術を通じた国際交流イベントの促進

## ○大和茶の湯はじめを開催【文化振興課】

- ・子どもや外国籍の市民等も気軽に楽しめるイベントを目指し、日本の伝統文化である茶道の魅力を広く発信する、本市最大規模のお茶会「大和茶の湯はじめ」を令和6年度より実施しています。
- ・令和7年度は、大和茶道会による表千家・裏千家・江戸千家の席に加え、1階ロビーでは米軍厚木基地シャーリーランハム小学校とアーン小学校の教職員による茶席、メインホールホワイエでは子ども茶席を設け、多様な来場者が親しめる構成としました。
- ・また、市内の造園業者の協力により、会場入口に茶庭を模した趣のある装飾を施したほか、大和市国際化協会との連携により、外国人市民への広報を強化したことで、多くの外国人の来場者を迎え、国際交流の場としての側面も推進できました。



| 年度   | R6    | R7    |
|------|-------|-------|
| 参加人数 | 679 人 | 802 人 |

## 方策 6－2 海外都市との文化芸術交流の推進

## ○大和市光明市子ども絵画交流展を開催【国際・市民共生課】

- ・海外友好都市である光明市（大韓民国）との交流事業の一環として「大和市光明市子ども絵画交流展」を開催しました。
- ・「私の住む美しいまち」をテーマに、大和市および光明市の子どもたちから作品を募集し、シリウスギャラリーで展示しました。
- ・令和8年度は光明市においても同じ作品を用いた展示会を開催する予定であり、子どもたちが絵画を通して互いの文化や暮らしを理解し合い、国際交流の第一歩を踏み出す機会を創出することができました。

